

2026 年(令和 8)年 5 月 25 日

第 3 回 全国高校新聞コンテスト募集要項

主催：全国高等学校新聞教育研究会

認定NPO法人 報道実務家フォーラム

後援：早稲田大学次世代ジャーナリズム・メディア研究所

一般社団法人 日本新聞協会

協賛：三省堂

1. 目的

現在のネット社会に対応できる学校新聞の在り方を模索しながら、未来志向で学校新聞を発行するために、自ら情報を収集し、そこで得られた知見を自らの問題として捉え、確かな情報として発信する力を育てている全国の高校生とその活動を支援する教員を多角的な視点から顕彰します。

2. 募集対象

全国の高等学校に所属する生徒（中等教育学校の後期課程や高等専門学校の 3 年生までに所属する生徒なども含む）が教員などの指導の下に作成した学校新聞を審査します。原則として、新聞を発行している学校関連団体の教員からの応募とし、生徒個人からの応募は受け付けません。

3. 応募受付期間 **（ご注意：例年より応募期間が2か月早くなっています）**

2026(令和8)年 6 月 8 日（月）～ 6 月 19 日（金）(消印有効)

4. 応募対象紙

2025(令和7)年 8 月 8 日以降に発行された学校新聞のうち、審査を希望する 1 号を審査します。

○**応募の手順**（ A.→B. の手順で応募してください。B.による紙面の到着で応募完了となります）

6月上旬をめぐりに「全国高等学校新聞教育研究会」webサイト (<https://zenkousin.news.coocan.jp/>) 上に応募用のGoogleフォームと応募用紙をアップします。それぞれ以下の手順でお申し込みください。

A. Googleフォームでの応募申込み

<https://zenkousin.news.coocan.jp/>内の「第3回全国高校新聞コンテスト」応募関連のリンクより 6月19日（金）までに**Googleフォームに必要事項を記載して応募の申し込みを行ってください**。ここに記載されたアドレスに審査結果等をお送りしますので、正確なご記入をお願いいたします。

B. 紙面の送付

上記のリンクから応募票をダウンロードし必要事項を記載してください。審査を希望する応募紙 1 号に必要事項が記載された応募票をクリップ止めしたものを **6 部用意し、ひとまとめにして受付センターまで送付してください**（6/19 消印有効）。

送付先

全国高校新聞コンテスト受付センター

〒355-0018 埼玉県東松山市松山町 1-6-10 松山高等学校内

全国高校新聞コンテスト受付センター（担当：矢野悠季）

5. 審査員

全国高等学校新聞教育研究会（以下「全高研」）の常任理事 3 名と報道実務家フォーラムの 1 名、早稲田大学次世代ジャーナリズム・メディア研究所から 1 名、計 5 名で審査を行います。

6. 賞

審査においては、総合的に優れた紙面に加え、地域に根ざした取材による報道性、紙面構成や文章表現力

の完成度、生徒の活動を生き生きと伝える力、写真の効果的な活用など、多角的な視点から高校新聞づくりに取り組む姿勢と創意を評価します。総合的な完成度と調和の取れた新聞には、総合賞として、金賞・銀賞・銅賞・奨励賞を授与します。

また、特定の分野において優れた工夫や独自性が認められる新聞には、部門賞として、企画賞・論説賞・コラム賞・写真賞・デザイン賞等を授与します。なお、部門賞は総合賞と重複しない形で選考しますが、該当する新聞がない場合には、その賞を授与しないことがあります。

7. 結果発表および成果発表行事

審査結果は 9 月上旬を目処に本研究会ウェブサイトにて発表するとともに、授賞の有無にかかわらず、応募時に登録されたメールアドレスに通知を送付します。

上位入賞校（特に金賞受賞校）を対象として、10 月 10 日に金沢市で開催される全国学校新聞指導者研修会において**表彰式とセミナー（顧問による受賞記念スピーチ）**を実施します。また、これらの学校は 11 月 21～23 日に東京・早稲田大学で開催される「報道実務家フォーラム 2026」のセッションの一つである「**全国高校新聞選抜研究大会（全国高校スクールジャーナリストサミット）**」（仮称）（22 日実施予定）に招待し、各校代表生徒による意見発表をします。なお、両行事への該当校の招聘に伴う交通費および宿泊費は、主催者が全高の新規定により原則負担します。

8. 注意事項

応募紙は紙面の形での応募とし、デジタルデータの形での応募は受理できません。また、応募された紙面は返却できません。応募に関して得られた情報は適正に管理すると共に、全高からの各種案内に利用することがあります。また、入賞校の紙面は、個人情報、著作権などに配慮した上で全高の Web サイトでの公開や本コンクールの PR 活動、全高主催の指導者研修会や選抜研究大会などでの紹介や講評などで活用する場合があります。応募校は、上記を含めて、応募団体の情報を全高が必要と認める範囲内で利用することに承諾したものとします。

9. その他

全高では、このコンテストを、よりよい学校新聞作成のために日夜努力する高校生とそれを支える教員を支える存在としたいと考えています。「みんなで育てるコンテスト」として皆様方のご意見を伺い、次年度以降のコンテスト運営にできるだけ反映させ、より高校生のためになるコンテストにしていくことができるようにしたいと考えています。

なにとぞご理解ご協力のほどよろしく申し上げます。

10. 問い合わせ

〒355-0018 埼玉県東松山市松山町 1-6-10 松山高等学校内

全国高校新聞コンテスト事務局（担当：矢野悠季）

☎0493-22-0075 yano.yuuki.02@spec.ed.jp

11. 著作権に関する指導のお願い

学校新聞の制作にあたって、第三者の文章や新聞記事を引用する際は、報道目的の引用として正当な範囲とし、出典を明記するなど、著作権法上のルールを守ってください。また、記事・写真・イラスト・図表など第三者の著作物を転載する場合は、事前に許諾を得るとともに、出典を明示するようご指導ください。取材・編集の各段階において、著作権に関する基本的な理解と遵守が図られるようお願いいたします。